

晩年

D・A・N 通信

No.15

2025. 11. 21 (78歳6ヶ月) ~2026. 02. 20 (78歳9ヶ月)

団 士郎



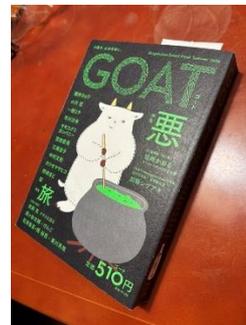
11/22

滋賀県草津市で開催中の漫画展会場で講演会。2011.3.11 の風化もやむなしの大災害に絡めて、「周辺」というタイトルで話す。私たちは誰かの何かの取り巻きの一部として生きることが多い。



11/24

TV の読書番組で話題にしているのを目にした文芸雑誌「GOAT」。518 ページもあるのが定価五百十円。文芸誌が 4 刷もおかしい。広告もそんなに載ってないし、売れるほど赤字に見える。小学館は何を考えているのかと思わせる。まだ一部しか読んでないが、久々に雑誌が興味深い。



11/25

世間が連休の間に連載マンガの新作第 310 話を完成。おじさんばかりが登場の話になった。対人援助学マガジン 63 号の締切が今日

だから、続々原稿が届く。だからそれまでに私事は完了しておくのだ。計画的だなあ、昔はこんなことなかったのに。



今年もこういうzoomトークライブします。振り返ると5年前、妻が亡くなった10日後に第1回目を行った記憶があります。関心があれば shiro-san.com をご覧の上、お申し込みください。

11/27

昨日、地下鉄山科駅でトラブル。慌てて対応して無事乗り込んで一息。だいぶ経ってからメガネがないのに気づいた。あの時バタバタした折に、頭に乗っていたメガネが落ちたのに気付かなかったのだ多分。駅に電話してみたが届いていない。落とし物は烏丸御池で全体管理しているからそちらも聞いてみたらという。早速かけてみたが繋がらなかった。この段階で諦めた。高い眼鏡なのに一年ももた

ずに縁のない。今日、髪を切りに行って、その足で眼鏡屋に行こうと思った。ヘアサロンを出ると雨が降り出していたので、傘を出そうとした時、昨日かけた履歴のスマホが目に入った。ダメ元でかけてみるとすぐに出た。問い合わせすと形状やメーカーをという。普段気にもしないが、買ったのが金子眼鏡だったのでそう告げると、おそらくそれだと思われるのが届いているという。大喜びで急いで取りに行って無事戻ってきたのがこれ。なんでもちゃんと届けてくれる人が多いのだなあ。嬉しい、ありがとう。



12/02

先日、ずいぶんためらっていたのだが、50年付き合いの病を得た友人のところにちょっと立ち寄ってみた。お見舞いとかでもなく、具合が悪ければ、仕方ないと思っていたので手ぶらで。思いの外、体調が良かったようで、馴染みの喫茶店で久しぶりにゆっくり楽しく話せた。時は晩秋真っ只中。



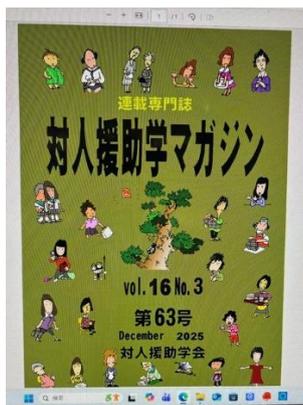
12/03



仕事場近く、寺町二条の交差点に、ブションと言うレストランがある。以前はちよちよ行っていたのだが、当時から外国人のお客がとても多い。パリの下町のレストラン風。久しぶりに行って見たが、やはり美味しい。お昼時だったので、大賑わい。

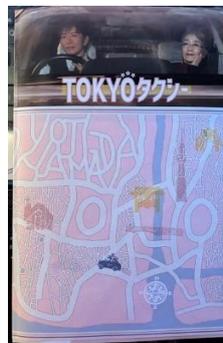


いつもとはちょっと違った表紙の対人援助学マガジン第63号。12月15日のwebアプリを目指してただいま編集中。五十人ほどの連載執筆者が皆、締切を守って原稿を送ってくださるのは有り難い。自分だけは特別扱いなんて思い上がった人がいなければ、こういうことが可能なのだ。



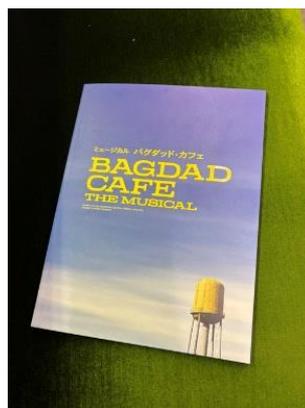
12/03

マガジン編集作業の合間、夕飯に仕事場を出る。その時思いついて、映画「TOKYO タクシー」を観ることに。サラッと観られて良かった。ラストでうるっときた。元ネタの「パリタクシー」を観てみようと思った。



夜中、早速「パリタクシー」を観た。比較してみると、ちょっとしたニュアンスの差がなんだか良かった。

12/05



とりあえず半年見てみることにした舞台。今回は映画でも記憶のある「バグダッドカフェ」。劇場は大阪梅田ドラマシティ。席は後の方だったが傾斜もあり観やすい。オペラグラスも持っていったので不満はない。なのに乗り切れない。もう舞台は面白いと思えなくなっているのかと心配。それなら仕方がないが、とにかく半年、6公演は観る。



12/15

出かける仕事がない時は、ついつい仕事場にこもってあれこれやってしまう。その結果万歩計のメーターは三桁になってしまう。できるだけ移動の用件を作って、無駄にでも出歩くよう心がけている。とはいえ、今日もこんな雑然としたところに来る客があるのだから、その対応で仕事場籠りです。



時間がある時にやろうと思っていたら、いつになっても始まらない。だから今日手を出した。長年溜め続けたブルーレイ・ディスクの映画の確認作業。一冊に約720タイトルのもものが七冊ある。つまり5000タイトルの映画。死ぬまでに何本観られるかな。そんなことを思いながらチェックしていたら、何度か観て大好きな「ピースメーカー」が目についた。つい見始めたら、またまた編集のスピード感に酔ってしまった。これは面白いですよ。



12/16

自宅近く、昔、妻とウォーキングをしていたあたりを、運動不足解消目的に早足で歩く。起伏が結構あるので息が切れて胸が苦しくなる。普段から慣らしておかないと、どこも行けなくなるぞと自戒。お供は audible「ババヤガの夜」。これはおもしろく快調に聴ける。以前、老婆の殺し屋の小説を読んだが、ピンと来なかったが、この主人公ハードボイルド女子はなかなかいい。途中の公園でラジオ体操。気がついた時にはこういう高齢者向きのエクササイズをやろうと決心するが、まあ大抵挫折だ。



12/19

しばらく前、柚木麻子の小説「バター」がイギリスで大評判だと聞いたので、文庫本を買った。だが、けっこうな厚さなので思案していた。調べてみたら audible にも、と思ったら収録予定だった。それが今日、12/19 公開になった。今、久々の宮本輝を聴いているので、まだ聴き始めていないが楽しみ。すみません、遅れていきます対人援助学マガジン 63 号は明日くらいにアップされます。



柚木麻子さんの社会派小説『BUTTER』がイギリスで3冠達成...

国内で30万部を超えるロングセラーとなっている柚木麻子さんの...

ほんのひきだし

柚木麻子の小説『BUTTER』はなぜイギリスで評価された...

柚木麻子の小説『BUTTER』は、2007年から2009年にかけて発...

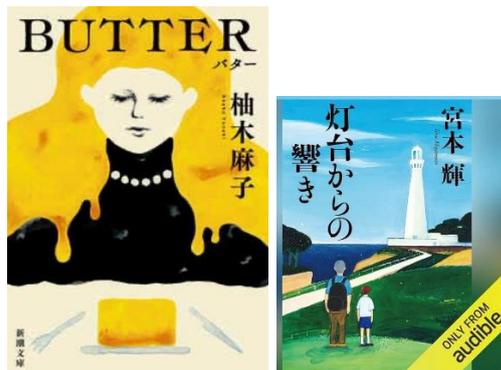
Yahooニュース



12/20

対人援助学マガジン 63 号がアップされました。今回も 300 ページ越え。五十人以上のヒューマンサービス世界あちこちからの現状報告的記事が満載です。ご自分の業界の近接領域に目を向けてみませんか？

昨夜は zoom の家族講座四回目。「老夫婦サブシステム」について、思うところを述べる。数日前は 76 歳になった妹と久々にランチ。一人で行くことはないのかニを食べたのだが、昔ほど食欲は活気づかなかった。好みが変わってきたのか。今日は広島日帰りの WS、道中の新幹線で定番のこれを食す。



12/19

篠原ユキオ サンタ漫画展をのぞいた。可愛い新作がたくさん。会場で会った野々口が、引き取り手のないというお手製クリスマスグッズをくれたので、仕事場の玄関ミニギャラリーに点灯して飾る。ちょっと師走っぽい感じだ。



12/21

日曜日らしく過ごす1日。BDの整理の続きをしていたら、「テルマ&ルイズ」を見つけた。再見したいと思っていたリドリー・スコット監督作品。ぼんやりした映画館での記憶だったが、やっぱりいい。女優二人のキャラクターが素晴らしく、ポスターも魅力的。臍げに記憶にあったラストシーンには持って行かれた。



12/22

昨夜、おおいに楽しんでたM1グランプリ。優勝者の左、赤木君は我が家の向かいの打出中学校出身らしい。我が子たちの後輩ということか。なんかちょっと嬉しい。



12/23

長い付き合いの大学の後輩でもあり、児童相談所業務に携わってきた友人たち。イブイブにケーキを持って訪問。なんのローソクだ？と言いつつ、火をつけて吹き消す。午後2時頃から、途中で馴染みのスペイン料理店に移って9時過ぎまで。楽しく飲み、語る。幸せなことである。

12/25

昨日のトークライブは「プレゼント」「無知学」の2つのテーマで各1時間余の二本立てで話したが、最近の傾向がまた現れた。何やらうまく話せていないのではないかと心残りでは仕方がない。今日送られてきたアーカイブを早速再聴した。するとそれほど悪いとは思わなかった。今話したいことを目一杯話すのと、聞いてもらうために周到に準備したものとは違うのだなあ。当たり前か。

12/27

快晴の昼前に家を出て、大阪天満橋駅近くの追手門学院大手前中・高校へ。「日本学校心理学会」で基調講演を頼まれていた。準備して楽しく話し終えたら、送っておいた書籍が、10分ほどで完売！有り難し。帰路のJR淀川鉄橋越えの夕陽が美しい。これで今年の御納。いい一年でした。



12/28

「バター」を聴き終えて珍しく影響された。ほぼ初めてバター醤油ご飯をなるものを食べてみた。書いてあったように、冷えたバターを溶かさずに、熱々のご飯に乗せて少し醤油を。美味かった。バターの種類など考えたこともなかったが、KALDIで二種類のお初を買ってみた。美味しい。



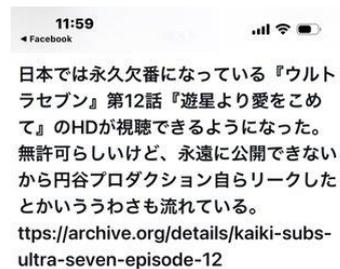
12/29

恒例になっているk君との年一懇談、食事会。あれやこれやと話題は転々。そんな時代に生きているのだし、高齢期を迎えたことを考えると、公私共にいろいろあるのは当然だ。贈られた新著は大労作。京都府福知山児童相談所に彼が仮配置できた初対面以来五十年。お互い、仕事は減りませんなあ。



12/31

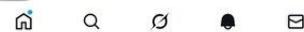
大晦日だが年末年始は何もしていない。自宅で新作原稿に難渋しながら何とかまとめた。SNSで見かけた全く知らない話題に、30分ほどの映像を見てみた。封印された作品より、クレームによって起きた事態に関心が向く。今はもっと様々に過剰用心の時代を迎えているなと思う。正しいかどうかより、「そういう時代だ」の不健全学習ばかりが蓄積されてゆく。



13:27 · 2025/12/30 · 156万回表示

🗨️ 58 🔄 3226 ❤️ 1.2万 📌 6997 📤

返信をポスト



1/1

あけましておめでとうございます。相当な歳ではありますが、できるだけ開けた目で、物事

を見つめ続けたいです。鋭いことなど言いたがりませんが、主観的に大切なことは忘れずに発信したいと思います。今年もどうぞよろしく。



正月っぽい事はしない。去年のように1人用お節を買ったりもせず、日常のように月末の新作を描いたりして過ごしていた。

大晦日に次男がやってきて、持参の年越し練そばを2人で食べた。元旦には次男一家全員が揃ってやってきて、石山寺に初詣の後、AEONでタピオカミルクティー。賑やかな正月になった。



1/2

さあ、今年の新作書初め。いや、描初めか。第311話「大人にする」。ここ数年、新作に苦労してきたので、ある変化を加えてみることに。読者にはわからないことだが、作り手としては大きな改革だ。上手くいってなくても、変更するのって決断が要る。できればこのままでとか思うのだよね。



1/5

明日から二泊三日で娘と孫がやってくる。なので2日から今日まで、週末の講座、WSの準備をしていた。一月も順調に忙しい。NHK zoom 講座で無知学の話をもも田想人さんがやるのを発見。申し込んでおく。



1/5

おいしいと思って何度もリピートしている京都高島屋の店が、こんなお店だったとは知らなかった。



でもロンドンって美味しいモノなかった記憶しかないけど、時代が変わったのだな。これしか食べないので、比較はできないけど、エビと

マトのジェノベーゼおいしい!! □サラダもドレッシングがいい、旨い。



1/6

娘親子が帰省してくるので、ならば仕方あるまいとテーブルを片付ける。こんな状態は1年ぶりだ。

やればできるのだが、廃棄整頓好きの娘が帰らなければ気ままな散らかしっぱなし。綺麗なものは悪くないが、散らかったのも悪くない。掃除嫌いの言い草、その通りです。



1/8

片付け名人母子が、大津市清掃局トラック依頼の作業を完了して帰った。



夜の予定(ノルマ)で大阪に。観ると決めた三回目はこれ。さあどんな舞台なのか？



1/8~12日まで、オリックス劇場で演っている「サムシング ロッテン」元気一杯の達者揃いの舞台だった。中でも全く存じ上げない、宝塚の男役トップスターだったという瀬奈じゅんさんは愉快だった。福田雄一演出というので選んだコメディだったが7年ぶりの再演らしく、今様にバージョンアップしてあって、面白い。チケットの売れ行きがイマイチらしく、カーテンコールでお客さんに告知を主役がお願いしていたので書いてみた。当日券があると思う。

1/10

恒例の家族療法ワークショップ in 京都国際社会福祉センター。step2なので、馴染みのある人ばかり二十四人が揃う。三日間実習中心の面接と理解のプログラム。こちらは相変わらずだが、ランチの注文をしていた食堂が閉店らしい。長いものには終わりが来るな。我々も当然そうだが。



1/11

WS 二日目。朝から実在の家族事例の面接ロールプレイを立て続けに4 ケース。それを使って、午後から一つずつ様々な技法を駆使して事例検討、家族理解をすすめる。まずはジェノグラムからのケース検討。次には家族造形法で。時代もあるのか、今回はメンタルな課題の家族多し。

1/12

三日間の家族療法ワークショップが無事終了。アンケートを見ると満足度はとても高い。それぞれの現場で仕事をするエネルギーに転換してくれると嬉しい。

ここのところずっと聴いていた「光のところにね」一穂ミチ著を終えた。素晴らしい。超間接的にだが、この小説の影響を受けてWSで、自分の担当するところを語っていた気がする。



1/13

こんな顔の頃の久米宏さんを1番よく見ていた。当然のように毎夜登場する、それがあの時代の生活だった。そのずっと前、京都であ

る児童相談関係の大会を実施するにあたって、久米宏に何か話してもらおうというプランを仲間のK君が強力に提案した。そして実際に事務所と交渉したのだが断られたという。その理由がまもなく大きなニュース番組をスタートする準備をしているところなので、申し訳ないけれどもお受けできないと言うものだった。それがニュースステーションだった。



1/18

昨日、縁結びなここに来て、久々の出雲大社。竹内まりやさんのご実家も拝見。いや～何度見てもでかいしめ縄。

今日は朝から一風変わったスタジオで四十人ほどの参加者で一日中WS六時間。初めての人たちには、馴染みのないやかましい爺さんに見えただろう。つつい喉をフル稼働、枯れる。





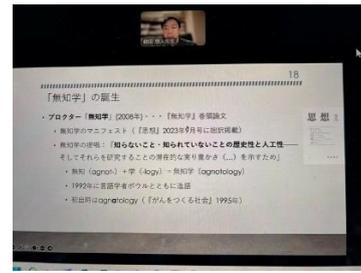
1/20

出仕事がない週なので、枯れた声の回復を願って一人静かに申告書の準備や掛軸漫画の制作。先週末の出雲で久々に会った何人かは30年とか前からの縁。退職してそれぞれの道を歩む。当時若手だった人が所長になって、今回のWSを主導してくれた。現役の若い援助職者に大勢聞いてもらえた。まだ役に立てることがあるのを幸運だと思う。帰路にもらった超トマトが美味しい。



1/21

昨夜から月に一度、4ヶ月連続の zoom 講座で無知学の話聴き始めた。知らない分野の話こんな風を受講するなんて久しぶりだ。講師の鶴田想人さんは「無知学への招待」の編者。面白いと思って読んだような展開で、本から膨らんでいくところが楽しい。



1/22

ぼむ展の作品作りが楽しい。ゆえあって古い時代のPhotoshopを使っているので手間取ることも多々。明後日の「家族理解の教科書 graphics zoom 授業」の今年度最終回のため、Q&A作り。「忠誠心」という言葉に多くの反応が。主従関係が匂うのに、みんなの中にずっとあるキーワードだからだろう。



1/24

不思議なもの巡り会うことに。木陰の物語「小雨の行列」を紙芝居にという、少々ややこしいオファーの経緯があった。それが市販品として完成した。送ってもらったので見た。絵も紙芝居用に新たに描かれていて、全く異なる。私は原作者、なんか変な感じだ。



1/27

亀岡市での民生児童委員研修会で話す。「理解が援助である」のお題で二時間弱。思ったように快調に話した。終了後、男性がとても喜んだ声を伝えに来てくれた。往復はずっと audible を聴いている。あれこれ聞きすぎて、何やら混乱気味だが楽しい。途上、今月の新作プランが閃く。



1/28

新作制作、マガジン連載日記、WS パワポ作成、掛軸用カラーリング、郵便物の手配ラブル対応などの合間、感想を聞かれていたドキュメンタリー「ブラック ボックス ダイアリーズ」を観てきた。その後、御池通りの進々堂でシナモンドーナツ食べながら、マンガの下書き。夕暮れの窓景色がきれい。



1/29



大阪で漫画家グループぼむの月例会。久々に阪急電車で梅田に。車中で連載の下書きが思いがけず捗る。ランチは篠原選択の満席の店でこれ。その後は富国生命ビル階のカフェでお茶、歓談。喋ってると思いつくことがあって、まだまだ脳は干からびていないと自覚。これが老化防止策だね。



2/1

少し雪もある四国の山並みを上から眺めて、高知に。昨夜は事務局の人たちと楽しく会食。日曜日、朝から六時間のプログラムを二十人で。なかなか活発に声の出る時間。帰路の空港で、いつもはたたき定食だが、これが目に入ったので選ぶ。美味いかどうかは？





2/2

嫌な気持ちしかない新聞記事が目に入る。こんな冬場のクソ選挙で、ホントかよ？ この先、日本はどうなるの？世間はトランプの子分で行こうと思っているの？ そんな時に書店で見かけた絵本に手が伸びた。80年近く戦争を知らずにきた団塊世代。近年あちこちで評判がわるいけど、なぜ？



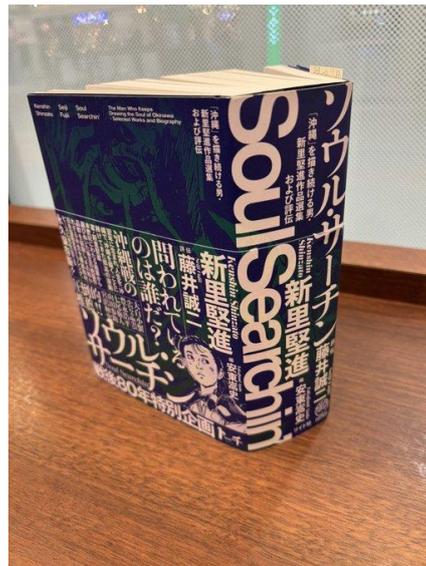
2/3

新作完了。第312話は「にぎやかな共同墓地」地球ってそうだよなあと昔、思ったことがあって、そんなタイトルの一コママンガをある企業内誌に連載していた。地球が誰も居なくなった静かな共同墓地にならないために、新たな戦争は起こしてはならない。



2/3

900頁越えのマンガってどうよ？と思いつつ、文章は飛ばして読んだ「ソウル・サーチン」新里堅進 著。毎年参考にしてている、このマンガを読め！の第4位に入っているではないか。3位の「隙間」も1.2巻は読んだ。マンガの世界は電子書籍版から拡大していっているようだ。



2/4

アウトプットばかりの日々。掛軸用彩色大詰めの前に、映画でもと思った。検索してみるとこれだ！と目につくものが。聞いたこともない作品だが決定。ワクワクして京都シネマに。結構お客がいるんだ！と期待。面白いんだけど、もっと盛り上がるかと思っていたのでまあまあ。パンフレット売切れ。

果は考えずに心中で祈る。JR で本日の用向きの大阪に向かう。滋賀県、京都府、大阪府と40分ほどで通過してしまう新快速ははやい。京都も車窓は雪景色。



長年関心を持つ「ネコから目線」。その寄付者のつどいなる小さな、あたたかい会に出かけた。仕事の拠点オフィス、ネコのシェルターを見せてもらった。現場仕事を支える整然とした清潔な基地に感動。チーフの小池は世の中の力を集めるのか上手だ。参加者のネコ愛にも感嘆。



第1回 ねこから目線、寄付者のつどい Time Table	
13:00	開場(受付開始)
14:00	開会式(あいさつ)
14:10	2020年に贈ったねこさんのご紹介
14:35	ねこから目線、授賞式 【寄附者】 【TPO大賞】 【賞品】 【お祝い状】
14:50	ご挨拶タイム ※お話しを聴いて、ねこさん、ねこさんへの思いを話していただき、ねこさんへの思いを話していただき
15:10	ねこのラストダンス ※ねこさんへの思いを話していただき、ねこさんへの思いを話していただき
15:25	ご挨拶タイム ※お話しを聴いて、ねこさん、ねこさんへの思いを話していただき
15:50	閉会式(あいさつ) ※お話しを聴いて、ねこさん、ねこさんへの思いを話していただき

2/11

今週は人と会うことが多い。その間に、能登輪島漫画展に向けて掛軸発送。来月のぼむ展用新作掛軸作りのため、完成したデータを業者に送信。週末の児相近接領域山口大会の講演資料作成。あれこれの合間に録画してあったNHKアナザーストーリー、ABB Aを見て心が動く。前にも見た気がするが。



2/12

朝日新聞文化欄に連載中のこれ。新井敏記さんは雑誌 switch 編集者として長い馴染だ。本も何冊か持っていて愛読した。沢木耕太郎さんや原田マハさんへの関心も重なっている。興味のあること、心動くことが似ている気がするが行動力が私には足りない。私には受け身の今がちょうどいいのだろう。

朝刊【大版】2026/2/9(月) 文化

大学時代に池袋のジャズ喫茶で働いた時期があって、村上春樹さんが千駄ヶ谷で開いていた「ピーターキャット」にも何度か何ってました。1979年のデビュー作風の歌を聴くに驚かされました。あまりに素晴らしいので、店を訪れた時、キッチンにいた村上さんの言葉を覚えて、いまは「僕が本当にやりたかったのは小説を書くことでした」と。83年、短編集「中国行きのスロウ・ボート」出版時は「POPEYE」のライターとしてインタビューを依頼した。当時、千葉にお住まいで、スロウボートを降りて少し進んだ先にあ

編者 新井 敏記

「よかつたら」村上春樹からの原稿

赤い履歴が目印です」と教えと一緒におせんべい、でした。85年に「SWITCH」を創刊した後、寄稿をお願いする度に「今は投稿を書いてくれるからごめんなさい」と独特の丸文字の返信を頂きました。でも、89年のある日、前触れなく「よかつたら載せてください」という言葉を添えた原稿を郵送してくれました。後に短編集「TVビープル」に収録される秀逸な作品「我らの時代のフォークロア」高度資本主義前史」です。山本啓子さんの描

きよし版画とともに掲載した作品は、雑誌にとつて沢木耕太郎の日記連載に続く字塔のまな作品になりました。短編集の書き下ろしや翻訳作品などの寄稿を通して作家との関係は続く。2015年、創作の秘宝をつづった「職業としての小説家」はスイッチ、パブリッシングから出版された。密着でも並走でもなく、時々立ち寄るように寄稿をいたぐスタイルも編集者には珍しいんです。(聞き手・北野新太)

あらい・としり 1954年生まれ、「SWITCH」編集長、スイッチ・パブリッシング社長

2/14

山口県湯田温泉に来ている。33年前に自分達で立ち上げた勉強会。予算も公的裏付けもなく、熱意を持つ人々の手で継続されて今に至る。手弁当で仕事のことを考える人々が今回参加 200 名越えで全国から。そこには心身ともに健全さがある。メッセージが若い人々に届くことに期待だ。



2/15

33 回大会のために構成準備した三時間の話は、とてもよく聞いてもらえたようだ。昔馴染みの人々からも、褒めてもらった。2025 年の新刊「家族理解の教科書 graphics」も、多くの方に手にしてもらえた。若い世代の聴衆、読者、共感者を得たいと、工夫はしているつもりだが、初参加者から何人もそんな声をもらえて満足、満足。

日程を終えて、帰路につこうと出口に向かったところで声をかけられた。

この 3 月で無事定年退職を迎えるという女性だった。仕事に就いてあれこれ悩んでいるときに私の研修講座に触れたのだと言う。

そしてそれを道しるべに無事ここまで頑張っただけでした。そのことをお礼が言いたくて今回参加しました。ありがとうございましたと言われた。

そんな風であればいいなと思う事はあるが、意図的に何かができる私ではない。面白かったです、ちょっと元気になりましたで充分である。しかし、このように聞いてくださって、それを大切に仕事に活かしてくれた人があるのは、こういう役割を果たしてきた者には果報である。

長生きすると、こんなことも聞かせてもらえるのだなと思うと、もうしばらくこの世界を賑やかしているのもいいなと思った。



2/19

昨日今日の二日間、立命館院生と学部生対象の 6 コマの家族理解 WS。長年やってきたがいよいよ最終回。ところがインフルの欠席もあって受講生が一人だった。それなら対話で 95 分×6 を 21 歳の N さんと二人で。聞くと学部一年生の去年に続いて二度目の受講だという。

この年齢でなにが気に入ったのか？ 私的にも初めての面白い時間になった。



2/20

ミラノ五輪「りくりゅうコンビ」の映像を見て、面白いなあ、可愛らしいなあと思った気分で、又一つ新しいことをやってみようと決断。



あまり関わったことのない研究会のメンバーに。今日、事前打ち合わせの zoom 会議があった。78 歳にもなってから引き受けるものでもないかもしれないが、面白がってくれる人があるようなので。